

国内で初めて発見された *Chondracris rosea* (バッタ科ツチイナゴ亜科)

池田鈴姫・伊達いずみ・内田ひおり・鈴木雄大・関口野音・菅野えみり・
林昊生・松井涼平・岩本哲人(神戸市立六甲アイランド高校自然科学研究部)・
横川忠司(兵庫県立人と自然の博物館地域研究員/生きもの科学研究所)

はじめに

2020年8月、神戸市東灘区六甲アイランドにて、我々は *Chondracris rosea* を確認し、国内初として昆虫の専門誌¹⁾やメディアに掲載された。発見された個体はメス成虫と推定され、当地周辺での産卵の可能性や、次世代以降で農業被害などを引き起こすことが懸念される。より多くの方々に周知し、今後の調査で迅速な発見に努め、侵入や定着を防ぐために活動していきたい。

発見個体について

2020年8月、神戸市東灘区向洋町9丁目(図1)にて、静止していたところを発見した(図2)。当個体の全長は78~86mm程度で、雌と推定される。コンテナターミナルからの最短距離は約300mの場所であるため、生息地から船で侵入した可能性が高いと考えている。なお当個体は採集していない。

本種の特徴

全長は雄が50~65mm、雌が65~90mm程度であり、体色は濃い緑色で6本の赤い脚を持つ。複眼の下に2本の黄色の筋があり、また胸部は堅い(図2)。

パキスタンから中国、台湾まで東南アジアを中心に広く分布する(図3)が、現在の日本での記録はなかった。一雌の産卵数は300個以上である。1年で世代交代する1年1化で、春にふ化した幼虫は夏に成虫になり、産卵し、卵で越冬する(図4)。柑橘類、ダイズ、綿、サツマイモ、稲、サトウキビ、トウモロコシ、麻など様々な作物で被害が確認されている。



図1 発見場所 神戸市六甲アイランド野鳥園東側の道路脇歩道の草むら

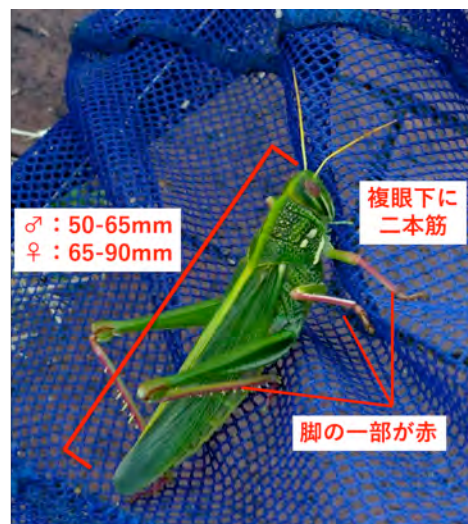


図2 発見した *Chondracris rosea*

図3 *Chondracris rosea* の分布 (朱色)

東南アジアを中心に分布。日本と韓国は誤り。

<https://www.cabi.org/isc/datasheet/13008#toDistributionMaps> を改変

今後考えられる問題と活動予定

日本に定着し、植物や農作物への被害が想定される。また、在来種との生活空間や餌の競合、病気や寄生虫の持ち込みなどによって、生物多様性への影響も懸念される。

発見個体が産卵していた場合は、次世代を早期発見することが重要である。そのため、発見場所周辺で生息可能場所（産卵した可能性のある土壌、餌になる植物の生えている草地）をマッピングし、本種（幼虫・成虫）モニタリングする予定である。またより多くの方にとって頂き、情報収集に努めたい。

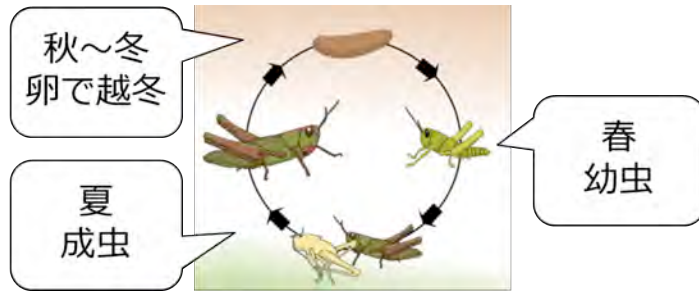


図4 *Chondracris rosea* の生活環

<https://www.sparklebox.co.uk/previews/10826-10850/sb10841-grasshopper-growth-word-mat.html> を改変

ご協力をお願い

本種を見つけたら次の情報をお知らせ下さい。見つけた場所(詳しい位置)と写真(バッタと周辺環境。たくさん撮っておいて下さい)。標本(生きた虫は逃げないように容器に入れ、死んでもかまいません)。

幼虫は翅が短く、お尻の先に届きません。大きさは様々です(全長6mm以上)。横から見ると、複眼下に黄色と青の筋があり、後脚に鋭いトゲが多くあります(図5)。在来種のツチイナゴなどによく似ており、区別は困難です。



図5 *Chondracris rosea* と在来バッタ（ツチイナゴ、トノサマバッタ）の幼虫

参考文献・資料

- 1) 横川忠司・岩本哲人 (2021) 国内で初めて発見された *Chondracris rosea* (バッタ科ツチイナゴ亜科). 月刊むし. (599): 37-38.
- 2) 生きもの科学研究所 (2021) 外来バッタ *Chondracris rosea* (バッタ科ツチイナゴ亜科) についてのまとめ. https://bio-science.jp/chondracris_rosea/, 2021年2月18日参照.

発表当日にチャットでいただいたご質問と回答

(1) 本種の駆除に関して、ツチイナゴなどの近縁の在来種を間違えて駆除してしまわないような工夫が必要だと思うのですが、何か対策はなされていますか？

(回答) 1 つは、この発表も含め、より多くの方々に本種の特徴をできるだけわかりやすく伝えて、誤って在来種が駆除されないようにすることです。2 つめは、正しい対処法を伝えることです。具体的には、似た虫を見つけた場合、駆除したり殺虫剤や除草剤の噴霧はせず、まずは写真を撮影したり、数個体を捕獲してもらい、見つけた詳しい場所や写真、標本の提供をしていただけるよう周知したいと考えています。

(2) そのバッタは、現在日本国内に天敵になり得るような種はいますか？また、元々の生息地にはその天敵としてどのような種が挙げられますか？

(回答) 生息地に本種だけを捕食したり寄生する種がいるかどうかはわかりませんが、幼虫や成虫は菌類に、卵はマメハンミョウや寄生蜂に寄生されます(CAB International, 2021 など)。このほかにも鳥や昆虫、クモ、病原体などに捕食・寄生されるため、国内でもこれらの生物は天敵になりうると考えられます。

CAB International, 2021. Invasive Species Compendium. <https://www.cabi.org/isc>, 参照 2021-2-23.

情報求む！！ぜひメモを



- ・見つけた場所
詳しい位置
写真
- ・昆虫の写真
(特に**横**から)
- ・標本
(生死問わず)



幼虫



成虫

<http://gaga.biodiv.tw/9507/90.jpg> 改変

連絡先 神戸市立六甲アイランド高校
Tel 078-858-4000